

# 2024年度沖縄県医学検査学会（第59回）

## 学会企画

### シンポジウム

「コロナ禍を振り返って

～各方面から次の有事に備えるために～」

#### 【ねらい】

2019年12月中華人民共和国湖北省武漢市から発生したとされる新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、当初原因不明の肺炎であった。その原因とされる病原体が新種のコロナウイルス(SARS-CoV-2)であることがわかり、またたく間に全世界に感染が拡大した。2020年1月に国内で初めての感染症患者が確認され、翌月の2月には沖縄県でも感染が確認され、経験したことのない新興感染症との闘いが始まった。それから、早4年。令和5年5月8日から感染症法での位置づけが「2類相当」から「5類感染症」となり、人々の生活、そして医療現場では平穏を取り戻しつつあり、一方で過酷だったはずのコロナ禍での経験が少しずつ記憶から薄れ始めている。本シンポジウムでは、未知のウイルスによるパンデミックという未曾有の事態に対応された経験談を行政、検査センター、医療現場、臨床検査室の第一線で活躍された先生方にそれぞれお話していただく。水際対策や県民への対応、感染拡大防止、院内外におけるCOVID-19検査体制、そして沖縄県臨床検査技師会として対応についてお話をいただき、今一度コロナ禍を振り返っていきたいと考える。これらの経験から学んだことを共有し、今後未知なる感染症が襲来した場合にどのように対応していけば良いのかをいっしょに考えていきたい。

会場：第1会場（臨床講義棟2階 大講義室）

時間：9：00～10：40

演題名/講演者所属

講演者名

「沖臨技の取り組み」

アドベンチスト・メディカルセンター、沖臨技前副会長

瀬戸 司

「病院現場の立場から」

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター、沖臨技副会長

宮里 泰山

「民間検査センターの立場から～AVSSとACT Lab.の取り組み～」

株式会社 AVSS/ACT Lab

春山 貴弘

「行政の立場から」

沖縄県保健医療介護部 部長

糸数 公